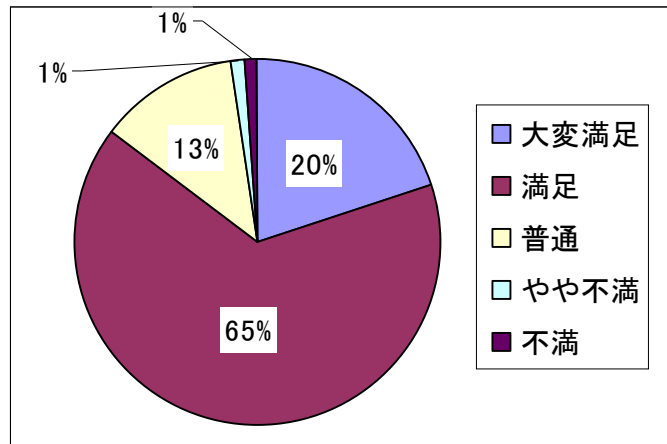


# 第1回在宅ケア多職種連携活動発表会 アンケート（結果）

回答数 103（回答率 56.6%）

1 本日の活動発表会はいかがでしたか。



2 今後、どのような内容の話を聞いてみたいですか。また、地域や事業所の取り組みで聞いてみたいものはありますか。（一部抜粋）

- ・ 地域ケア会議などを通して実践的な地域包括ケアをすすめている事例
- ・ 連携した事例紹介、連携が出来なかったケースの紹介
- ・ 病院から地域との連携、具体的方法。
- ・ 地域住民と一緒に取り組んで、地域づくりをした事例
- ・ 非営利団体（民間団体）の取り組み
- ・ 独居、老夫婦が自宅で過ごしていけるための活動
- ・ 認知症に細かく対応していくアイデア
- ・ 精神疾患を持つ人の在宅支援
- ・ 終末期医療について
- ・ 看取りの事例
- ・ 事前指定書の取り組み内容、広がり方
- ・ 在宅孤独死の状況
- ・ 高齢者以外の孤立死時の対応
- ・ 独居高齢者の閉じこもりへの対策、取り組み
- ・ 癌性疼痛コントロールにおける Dr、薬剤師、Ns の連携。成功例、失敗例。
- ・ がんでない在宅介護、看護の方の支援に対しての対応。
- ・ 介護予防への取り組み
- ・ 将来を考えると、高齢者のみでなく、30代40代の健康予防についても考える必要がある。
- ・ 利用者の費用負担の状況
- ・ 在宅サービスを担う関係機関の在宅部分の経営状況
- ・ 人口が少ない、サービス提供が少ない地域における取り組み
- ・ 在宅リハやケアマネの在宅の人への関わりとかを聞きたい。
- ・ 見守り機能（訪問型）を有する事業所の取り組み

- ・ 成年後見制度の事例
- ・ 障害者支援制度
- ・ 有料老人ホームなどが増えている中、真に在宅生活ができ、施設に入らなくても良い方策はないか？
- ・ 愛媛県中山町の取り組み
- ・ 市民の声、どうしたいのか。
- ・ 最終的には、自治体が様々な活動を束ね市政に繋げるのか？様々な活動をより効果的に発揮する為にも、自治体が関わって（主体的に）取り組まれたものも聞いてみたい。
- ・ 相談窓口の相談内容などについて

### 3 その他、今回の研修会に関するご意見・ご感想、今後のご要望等がありましたらご記入願います。 (一部抜粋)

- ・ 参加して良かった。これだけ多くの職種、メンバーが在宅を支えているんだということ、積極的に取り組んでいるということがわかり、熊本市に在住していることを嬉しく思う。
- ・ 非常に刺激的な内容だった。部分的でも取り入れていきたい。多様な活動を一度に聞ける機会として貴重。
- ・ 他区で行われている活動を見聞きして、お互い刺激し合い、良い意味で競い合って在宅支援に関わる一人でありたい。
- ・ 様々な地域で活発な活動が行われていることにびっくり、その情熱をうらやましく発表を聞いた。機会があれば参加したい。
- ・ 普段聞けないような話が聞けて勉強になった。プレゼンリレーでは一人ひとりの思いがこもっていて印象に残った。
- ・ てとてとココロの発表の仕方が良く、興味を持って聞いた。
- ・ 活動の具体的内容をもっと掘り下げて知りたい
- ・ 事前指定書は最期まで自分の意思で暮らしていただけるように支援する柱で、在宅支援に関わっていく者として必要。
- ・ 事前指示書について、熊本県下の医師会などに広めてもらいたい。(はっきりした意思決定ができるうちに)
- ・ 研修会の方向性や聴衆の対象がどこにポイントがあるのか明確にしたほうが良いのかもしれないが、逆に雑多な意見、取り組みということで、広く求めていくことも一つの形だろうか。
- ・ 介護保険が始まって10余年、やっと在宅ケアが市民権を持って産声を上げだしたと思う。お互いの連携は結びつきもだが、多くの人を取り入れてたくさんの意見から学び取り、進化発展していくものだと思う。
- ・ 一般の人にも是非聞いて欲しい内容だった。会場を一般の人にも参加しやすい場所にしたら良い。(パレア、市民会館など)
- ・ この様な研修会が今後も継続されることを望む。
- ・ この様な会も末端の事業所には伝わっていないと聞く。積極的に多方面で広報を。